



たかはるちょう

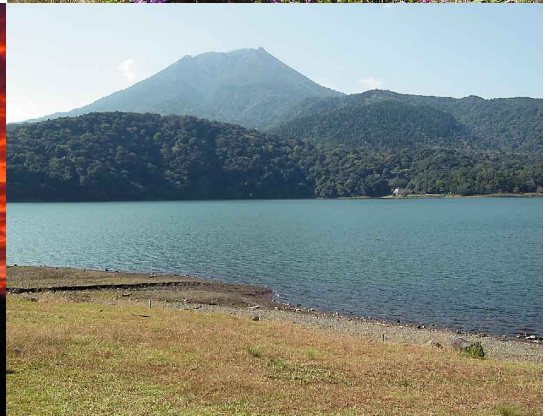
第33号

平成22年 9月定例会(第7回)
10月臨時会(第8回)

議会だより



日本 ジオパーク 認定



目次

- 平成22年第7回定例会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 平成21年度一般会計決算特別委員会報告・・・・・・・・・・・・ P 3
- 平成21年特別会計・企業会計審査報告・・・・・・・・・・・・ P 4～P 6
- 総括質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7～P 8
- 平成21年度高原町健全化判断比率及び資金不足比率
□ 蹄疫復興支援対策に関する意見書・・・・・・・・・・・・ P 9
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- 議案審議結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
- 議会改革の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- 人事・臨時会・議会の動き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13
- シリーズすくすく育て⑦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

■発行/高原町議会

■編集/議会だより編集委員会

〒889-4492 宮崎県西諸県郡高原町大字西麓899番地 ☎(0984)42-2111

■発行日 平成22年11月15日

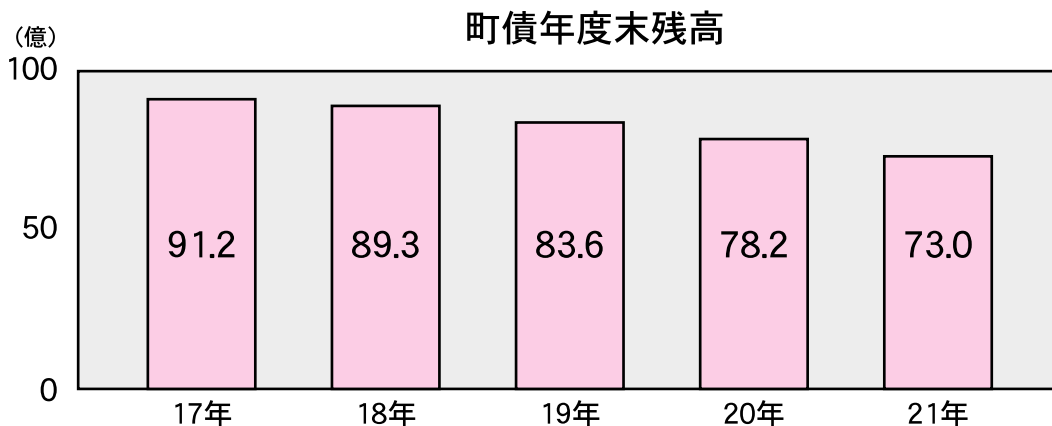
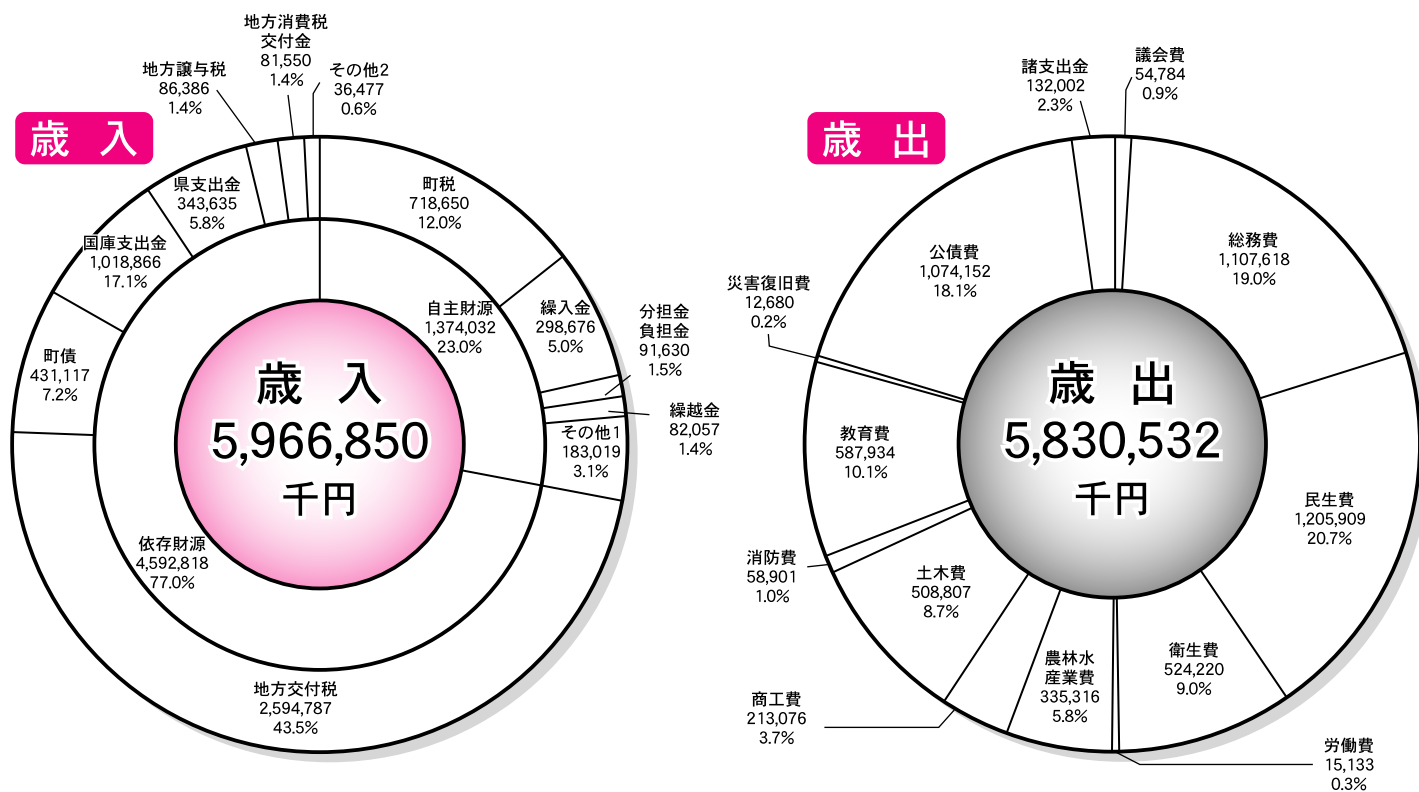
9月定例会

平成22年第7回定例会は9月8日から29日までの22日間の会期で開かれました。

平成21年度一般会計・特別会計・企業会計の決算13件、平成22年度補正予算7件、人事1件、発議1件、報告1件、その他2件を承認、可決、同意しました。なお陳情2件を採択、1件を継続審査とし、意見書1件を可決しました。

平成21年度一般会計決算歳出額

58億30,532千円



平成21年度

一般会計決算審査 特別委員会報告

歳入総額は、前年度比13.1%増の59億6,685万57円。歳出総額は前年度比13.3%増の58億3,053万2,398円。差し引き1億3,631万7,659円である。翌年度へ繰り越す額を除いた実質収支額は1億150万7千円でこのうち、5,100万円を基金に積み立てた。

歳入については、依存財源77%、自主財源23%で町税は7億1,864万9,657円、前年度比4,844万6,206円、6.3%の減である。依存財源では、地方交付税が前年度比3.5%増の25億9478万7千円、国庫支出金が前年度比166.1%増の10億1,886万6,289円。県支出金は前年度比22%増の3億4,363万4,993円などが主なものである。今後、町税、保育料等の収納率向上に特段の努力を望むものである。



常盤台活性化センター



拡幅された町道



学校地震補強工事

歳出は予算現額66億6,197万円に対し支出額58億3,053万2,398円、執行率87.5%となっている。義務的経費25億8,996万円の44.4%、このうち10億7,415万2,070円が公債費18.4%である。投資的経費は普通建設業の9億9,341万1千円、111.6%増となっている。

決算は住民福祉の増進、産業の振興、生活の整備等に努力されたものとなっている。

○委員会の意見

高原町肉用牛振興基金、肥育素牛購入資金貸付基金、高齢者等肉用繁殖雌牛導入事業貸付基金の3基金については、高額の未償還者もあり、基金運用に支障をきたすことが予想されるので、未償還者に対しては法的措置も含め債権の確保に努めるとともに、貸付制度の見直しを図られるように要望する。



決算審査特別委員会

特別会計・企業会計決算審査報告

◆総務経済常任委員会

*住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入265万4,293円、歳出258万6,438円、差し引き6万7,855円の黒字決算である。歳出は公債費償還金218万2,795円と公債費償還金利子29万643円などである。債権の年度末残高は4,040万6,190円となっている。

○委員会の意見

対象者の死亡や自己破産等も出ており、回収が年々厳しくなっている。今後ともなお一層の償還督促に努力されることを要望する。

*農業集落排水事業特別会計

歳入2,039万1,399円、歳出1,992万7,251円、差し引き46万4,148円の黒字決算である。歳入は一般会計からの繰越金1,469万8千円、使用料486万6,985円、繰越金78万6,414円、分担金4戸加入の4万円である。

歳出は農林水産業費が444万4,531円、公債費1,548万2,720円となっている。今後とも加入促進に向け努力を要望する。

*簡易水道特別会計

この会計は旭台地区の簡易水道会計で給水件数139件。

歳入は4,441万5,255円、歳出3,873万6,622円、差し引き567万8,633円の黒字決算である。

歳入の主なものは使用料・手数料1,500万3,048円、繰入金1,214万円、繰越金347万2,207円、簡易水道事業債1,380万円となっている。

歳出は衛生費3,028万5,492円、公債費232万1,130円である。

○委員会の意見

滞納者等に対する収納対策については、厳しく対応するよう要望する。

*水道事業

本事業は給水人口9,848人、給水件数4,304件、年間有収水量119万9,247トンで有収水量率75.01%となっている。

営業収益は1億6,713万2,542円、営業外収益は10万2,794円で営業費用は1億2,792万8,280円、営業外費用は2,669万2,487円で当年度純利益は1,261万2,469円の黒字決算となっている。

○委員会の意見

公平の負担の原則が崩れないよう未収金の完全徴収及び財政の健全化になお一層の努力を望む。



高原町上水道 常盤台浄水場

* 公共用地取得事業特別会計

歳入1,297万8,161円、歳出1,297万7,212円、差し引き949円の黒字決算である。歳入は一般会計からの繰入金1,297万8千円と繰越金161円である。歳出は公債費1,297万7,212円となっている。

* 温水平地区簡易水道特別会計

この水道は平成22年度より町水道に統合されている。

歳入316万9,301円、歳出189万714円、差し引き127万8,587円の黒字決算である。歳入は使用料・手数料が263万4,018円、繰越金53万5,283円である。歳出は衛生費60万9,006円、公債費128万1,708円となっている。

* 工業用水道事業

当年度も工業用水を必要とする企業立地がなく、収益的支出はない。

資本的収入は228万4,098円、資本的支出は建設改良費97万1,706円と企業債償還金131万2,392円で全額他会計からの補助金である。今後とも企業誘致に努力されることを望む。

◆ 文教厚生常任委員会

* 老人保健特別会計

歳入は498万248円、歳出が349万7,757円、差し引き148万2,491円の黒字決算である。後期高齢者医療制度へ移行されたため、当会計は平成20年3月以前の医療給付にかかわるものが主な決算額となっている。



グラウンドゴルフを楽しむ皆さん

* 国民健康保険特別会計

歳入17億8,921万6,767円、歳出16億9,390万5,520円、差し引き9,531万1,247円の黒字決算である。

平成22年3月31日現在、被保険者数3,696人、世帯数2,083世帯である。保険税滞納額は9,388万1,172円、前年度比323万8,142円(3.6%)の増となっている。

○ 委員会の意見

年々徴収率は、低下してきている。公平なサービスと負担は基本的なものであり、徴収については法的な措置も含め、より一層の努力を望む。